

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成27年9月4日

計画の名称	1 逗子市の災害に強い安全・安心な都市公園の整備（防災・安全）		
計画の期間	平成23年度～平成26年度（4年間）	交付対象	逗子市
計画の目標	逗子市の豊かな自然や風土と調和した災害に強い魅力的な都市公園として、都市公園事業では、施設の老朽化による公園利用者の低減を改善し、公園施設、特に水泳プール施設の安全や快適性の向上を図り、多くの市民が集い利用する公園としての機能を高めるとともに、新設する体験学習施設に災害ボランティアセンターとしての機能をもたせるなど、広域避難場所に位置付けられる第一運動公園の防災機能を高め、もって本市全体の防災機能強化を図る。 さらに、公園施設の戦略的な機能保全、向上対策による安全性の確保、都市公園における総合的な安全・安心対策事業を緊急かつ計画的に実施し、子どもや高齢者をはじめ誰もが安全かつ安心して利用できる都市公園に再整備することを目標とする。		

計画の成果目標（定量的指標）	・新設する逗子市第一運動公園施設（体験学習施設）を災害ボランティアセンターに位置付け、市内の災害ボランティアセンターの敷地面積を、4,461㎡から55,000㎡へ増加することを目指す。 ・逗子市第一運動公園施設（プール）の利用者数について、平成21年度の利用者数26,617人（H21）に対して29,278人への増加を目指す。 ・逗子市内の都市公園におけるバリアフリー化達成率：38%（H22年度当初）→40%（H26年度末） ・逗子市内の遊具を設置している57公園（H21）を対象に長寿命化計画策定調査達成率：→50%（H26年度末）
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	・逗子市内で災害ボランティアセンターに位置付けられる敷地面積を算定する。 = (H26未敷地面積) / (H23当初敷地面積)	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (H23当)	中間目標値	最終目標値 (H26末)	備考				
		100%	-	1230%					
	・逗子市第一運動公園プール利用者数を計測する。 = (H26利用者数) / (H22利用者数)	100%	-	110%					
	・都市公園におけるバリアフリー化の達成した公園数を調査するとともに達成率を測定する。 = (園路及び広場の適合公園数 / 園路及び広場の公園の設置公園数) + (駐車場の適合公園数 / 駐車場の設置公園数) + (便所 / 便所の数) × 3 × 100 ・遊具を設置している公園を対象に公園施設長寿命化計画を策定する。 = (長寿命化計画策定済み公園数) / (都市公園数)	38%	-	40%					
全体事業費 合計 (A+B+C)	1,164百万円	A	1,164百万円	B	-	C	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	-

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施時期
事後評価の実施体制	平成27年9月
策定主体にて評価を実施	公表の方法
	逗子市環境都市部緑政課のWEBページ掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業														
A1 基幹事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26		
1-A-1	公園	一般	逗子市	直接	逗子市	都市公園事業（第一運動公園）	園路、広場等 5.5ha	逗子市					997	
1-A-2	公園	一般	逗子市	直接	逗子市	逗子市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	施設更新、バリアフリー化等箇所	逗子市					143	
1-A-3	公園	一般	逗子市	直接	逗子市	逗子市公園施設長寿命化計画策定調査	公園施設長寿命化計画の策定	逗子市					24	
合計												1,164		
B 関連社会資本整備事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26		
					逗子市									
合計														
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考	
C 効果促進事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26		
													0	
合計												0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		・逗子市第一運動公園の再整備をすることにより体験学習施設を災害ボランティアセンターとして活用できるようになった。 ・老朽化した逗子市第一運動公園プールを再整備する事により、利用者数の増加につながった。 ・小坪飯島公園やアザリ工学校前公園、第一運動公園を改修、再整備工事する事により公園施設のバリアフリー化に適合する事が出来た。 ・街区公園（7公園）を平成24年度、地区公園や特殊公園、近隣公園（6公園）平成25年にて逗子市公園施設長寿命化計画を策定する事が出来た。		
II 定量的指標の達成状況	指標①（災害ボランティアセンターに位置付けられる敷地面積を算定）	最終目標値	1,230%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	1,230%	
	指標②（逗子市第一運動公園プール利用者数検証）	最終目標値	110%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	178%	
	指標③（都市公園におけるバリアフリー化の達成率）	最終目標値	40%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	40%	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	指標④（遊具を設置している公園を対象に公園施設長寿命化計画を策定）	最終目標値	50%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	100%	
・平成22年度 34,222人 ・平成23年度 27,298人 ・平成26年度 48,661人 142.2% ・市民要望に反映した整備事業であったため利用者数の増加につながった。 ・2カ年に分けて効率よく事業を進める事が出来全ての都市公園を対象に公園施設長寿命化計画を策定する事ができた。				

3. 特記事項（今後の方針等）